

I. ソフトウェアのインストール

まず、ソフトウェアのインストールパッケージを以下から入手する必要があります。

OWONウェブサイト (www.owon.com.hk)をダブルクリックし、指示に従ってクリックします。

インストールが完了するまでプロンプトが表示されます。

次に、付属のUSBケーブルを使用してオシロスコープをPCに接続します。

USB ポート経由で。

注記：

オシロスコープメニューでHIDを選択してください（ユーティリティ→F4→USBを押し、
HIDを選択します。

弊社が提供していないUSBケーブルを使用すると、次のような問題が発生することがあります。
接続エラーや信号障害が発生する可能性があります。

II. ユーザーインターフェース

ソフトウェアが図2-1のようなメインインターフェースに入ると、

8つの部分から構成されます：

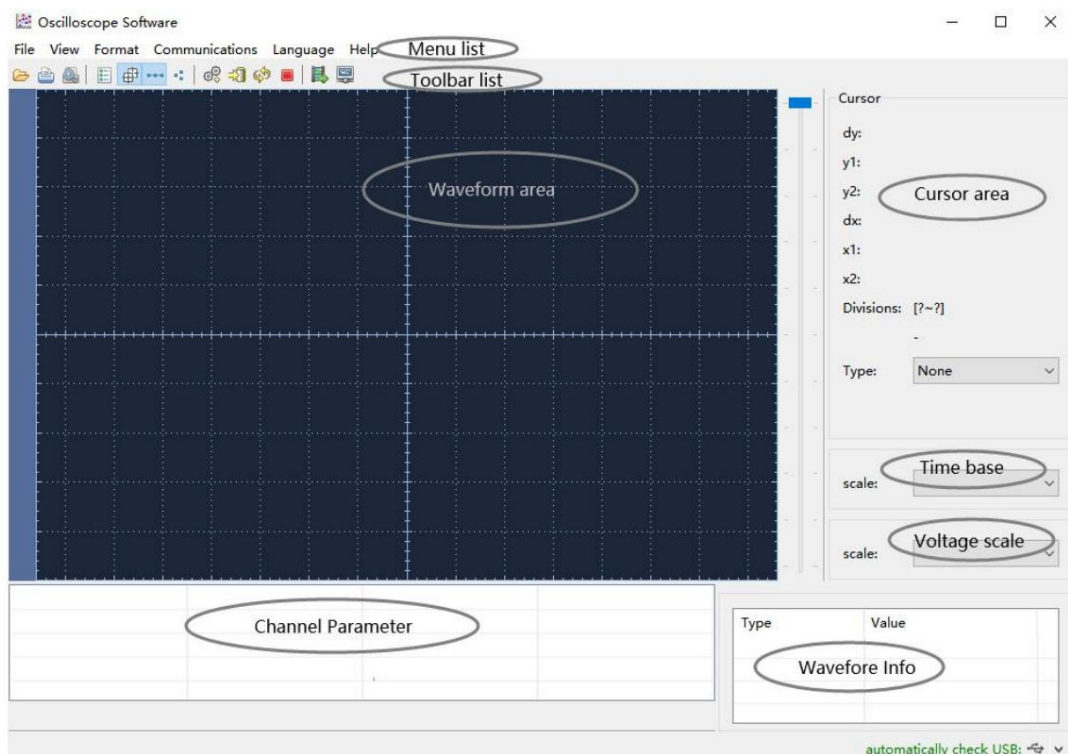


図2-1

1.メニューバー: さまざまな機能の紹介を提供します。

2.ツールバー: メニュー オプションの通常のショートカット バーを提供します。

3.波形表示範囲 :主な範囲の波形

表示されます。

4.カーソル範囲: 次の4種類のカーソルを観察できます。

波形を測定します: なし、水平線、垂直線、

二重線（水平線と垂直線は

同時に）。

5.チャンネルボックスの範囲: 情報と設定を提供します

波形の表示と非表示を切り替えるには、1つのチャンネルを次のように設定します。

電流波形。

6.時間軸の分割範囲: 観測と設定に使用されます

現在の波形の時間ベース。

7.電圧分割範囲 :監視と設定に使用されます

電流波形の電圧分割。

8. パラメータ表示範囲: 周期、周波数を表示します

現在の波形のpk-pkです。新しい波形が

非周期性、周期と周波数はすべて 0 です。

III. メニュー

メニュー バーには次のメニューが表示されます。

1.ファイル

2.表示

3.フォーマット

4. コミュニケーション

5. 言語

6. ヘルプ

詳細な説明は次のとおりです。

(1) ファイル (図3-1)

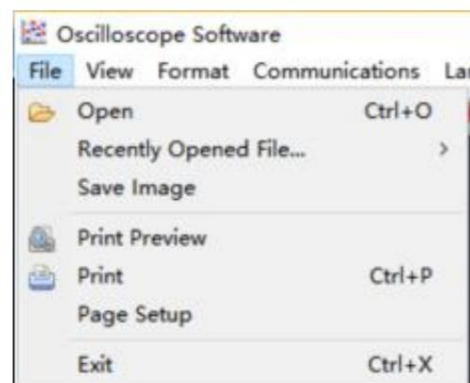


図3-1

- 1) 開く: bin サフィックスを持つ保存されたファイルを開きます。
- 2) 最近開いたファイル: 最近開いたファイル 10 個を保存します。
- 3) 保存: 現在の波形を画像として保存し、bmpをサポートします。
png、gifなど
- 4) 印刷プレビュー: 印刷効果をプレビューします。
- 5) 印刷: プリンターで印刷します。
- 6) ページ設定: 印刷の境界値を設定します。
- 7) 終了: ソフトウェアを終了します。

(2) 表示メニュー (図3-2-1)



図3-2-1

1) 波形XY: CH1、CH2のサンプリングポイントの電圧値

点の座標のX,Yとして表示されます。

チャンネルの場合、この機能は使用できません。

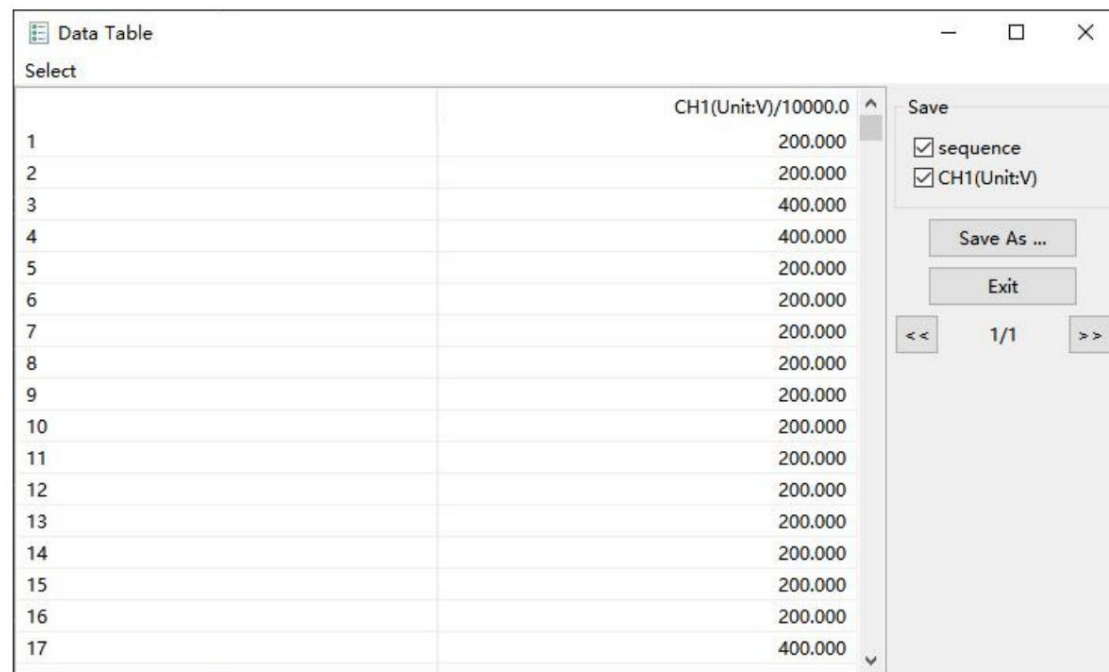
2) データテーブル: サンプリングポイントにおける電圧値の順序

保存できるすべてのチャンネルがリストに表示されます

.txtまたは.xls (Windows Office Excel)ファイルとして他の

文書。リストには、すべてにチェックを入れるか、何もチェックを入れないか、右

部分を保存されたチャンネルとして選択し、[終了] をクリックしてリストを閉じます。



Select	CH1(Unit:V)/10000.0
1	200.000
2	200.000
3	400.000
4	400.000
5	200.000
6	200.000
7	200.000
8	200.000
9	200.000
10	200.000
11	200.000
12	200.000
13	200.000
14	200.000
15	200.000
16	200.000
17	400.000

図3-2-2: 値リスト

3)グリッドの色: 色のダイアログボックスを表示して、

色。

4)背景色: 波形表示エリアをダブルクリックして

色のダイアログボックスを表示して背景を変更する

色。

5)グリッド ライン: 画像の背景のグリッド スケールを表示または非表示にします。

(3)フォーマットメニュー (図3-3)

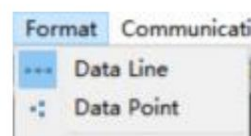


図3-3

- 1) データ ライン: サンプルング ポイントを描画し、線で接続します。
- 2) データ ポイント: サンプルング ポイントを個別に描画します。

(4)通信メニュー（図3-4-1）

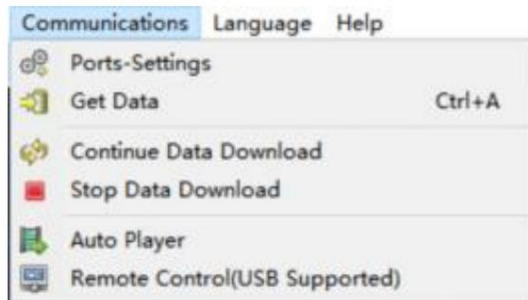


図3-4-1

- 1) ポート設定： USBとして設定し、USBポートを検索します
オシロスコープを接続してから、USB ポートの接続を更新します。

カスタムUSB転送手順: コマンドを送信して取得する

ソフトウェアによってマシンからのデータの種類。

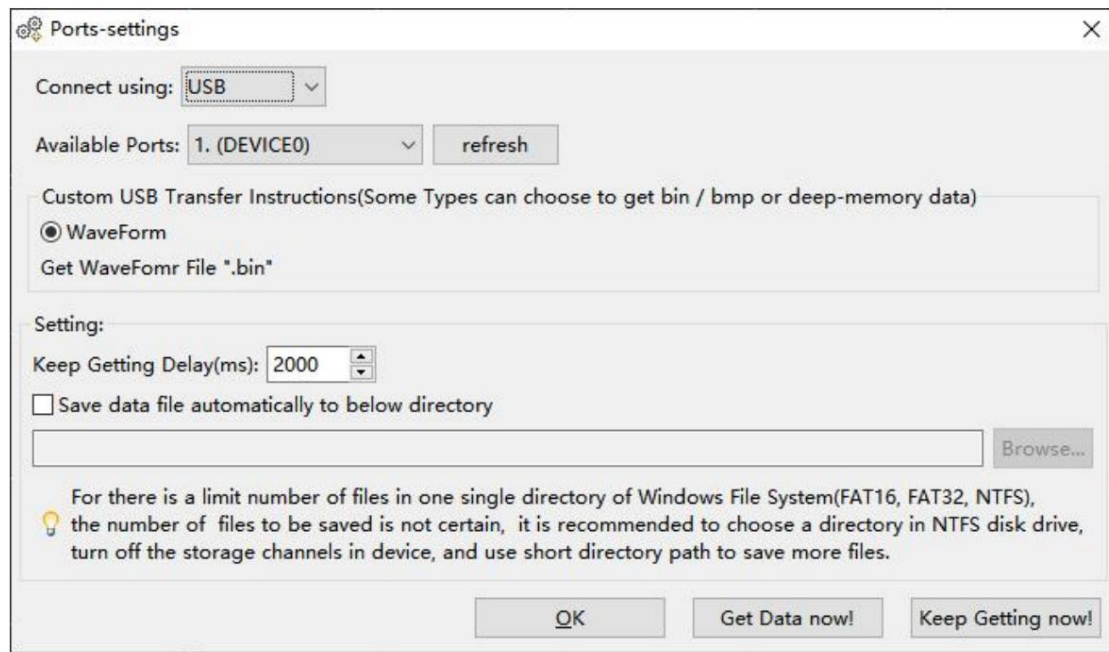


図3-4-2

ポート設定ウィンドウの下部は、
間隔時間と自動保存カタログを取得できる
設定。

2) データの取得: 計測器から波形データを取得します。

注: PCに接続した後、機器からデータを取得できます。

USBケーブルで接続し、ドライバーをインストールして正しいものを選択してください

インターフェース設定。

「参照」をクリックして「ファイルを保存」ダイアログボックスを表示し、
保存パスとファイル名。

ファイルタイプはベクターまたはビットマップで、対応するサフィックスは .bin または .bmp です。

機器を正しく設定すれば取得できます。

ファイル形式はファイルの種類から確認でき、選択できます。

終了時に「ウィンドウを閉じてロード」すると、binファイルのみがロードされます

ソフトウェアとショー、画像ツールで BMP を開きます。

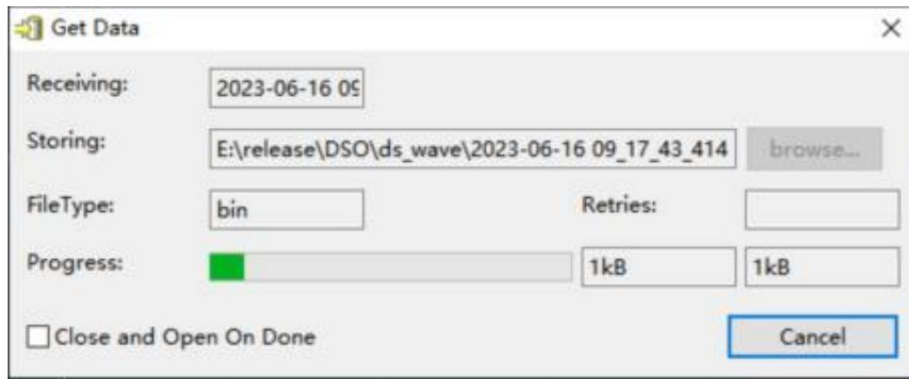


図3-4-3

3) データダウンロードの継続: インターバル時間を使用してデータを取得します

継続的な「データ取得」に基づいて設定されたインターフェース

停止をクリックします。(間隔時間は500ms以上にする必要があります)

送信および動作を保証します。

ベクターデータはアップロードされ、すぐに表示され、

ハードウェア。ビットマップファイルは、

アップロード中。

4) データダウンロードを停止: 自動取得を停止します。

5) 自動プレーヤー: 波形データを自動的に表示します。

オートプレーヤー機能を使用する前に、次の点を確認してください。

自動取得機能を使用してデータファイルを記録したこと

ハードウェアでは、データレコードディレクトリパスを使用します。

自動再生ダイアログを開き、このディレクトリパスを表示として[追加]します

[履歴]、[再生モード]で[回転]または[逆再生]を選択し、[時間]を設定します

遅延(ms)]を選択した場合は、開始矢印ボタンをクリックして、

波形データを記録するだけでなく、停止、次へ、前へといった操作も行えます。

操作中に、進行項目を目的の場所にドラッグすることもできます。

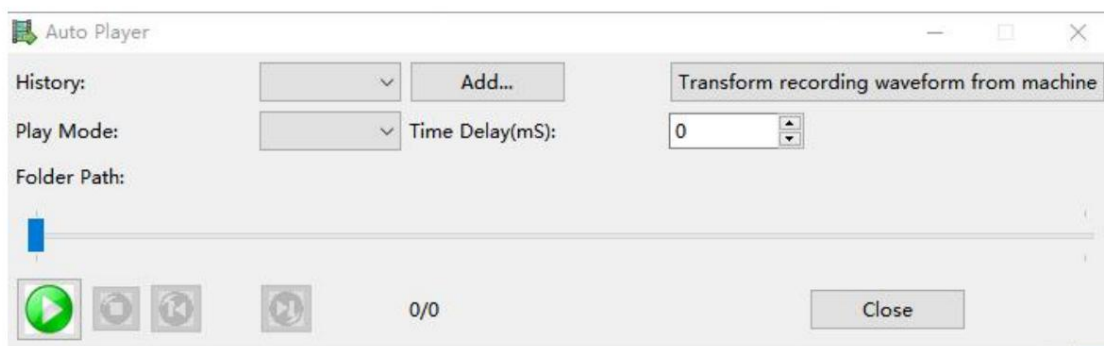


図3-4-4 自動再生ウィンドウ

6) リモコン（USB対応）

ソフトウェアの操作を通じて遠隔制御

機器で必要なパラメータを設定します。

(5)言語（図3-5）

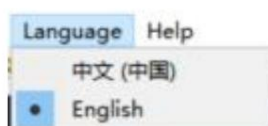


図3-5: 言語メニュー

このメニューでは、ユーザーは言語変換を行うことができます。

英語とスペイン語の間。

(6)ヘルプ（図3-6）



図3-6

概要: ソフト情報について

IV. ツールバー:

ツールバーのショートカット、一般的なメニュー項目、約13個のノブの数

以下の通りです:



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

アイコン名	関数
1 オープン	binという拡張子の保存ファイルを開く
2 印刷プレビュー	印刷効果をプレビューします
3 印刷	プリンターで印刷

4 データ表示		サンプリングポイントのすべての電圧シーケンスを表示
5 表示/非表示	グリッド	波形のグリッドスケールを表示または非表示にする 背景
6	リンクされたディスプレイ 波形	サンプリングポイントを描画し、直線で接続します
7	データを表示 ポイント	サンプリングポイントを離散的に描画する
8 コミュニケーション	設定	通信パラメータを設定する
9 マニュアル	取得	オープン波形取得インターフェース
10 オート	取得	ファイルの自動取得
11 番停留所		自動取得を停止
12 自動再生		.binファイルを自動再生する
13 リモコン	リモコンをオンにする	

V. 関連する業務

ソフトウェアに関連するいくつかの操作。

波形表示範囲の操作:(図5-1-1)

(1)上下に動く波形：

まず、図（CH1）の位置は、
電流波形。

1)微調整：「CH1」をドラッグして波形を移動させます

画面上で上下に；

2)粗調整: 右側のルーラースライダーをドラッグして

波形を上下に動かすと、動く領域は

時間軸分割の最大可動領域（これは

カーソル領域の右側の現在のブロック（ブロック1/8）を確認します

画面の高さに応じて変化します。

（2）波形を左右に移動：マウスを波形上に移動すると、

アイコンになり、マウスをドラッグして波形を左にします

図5-1-1の通りです。

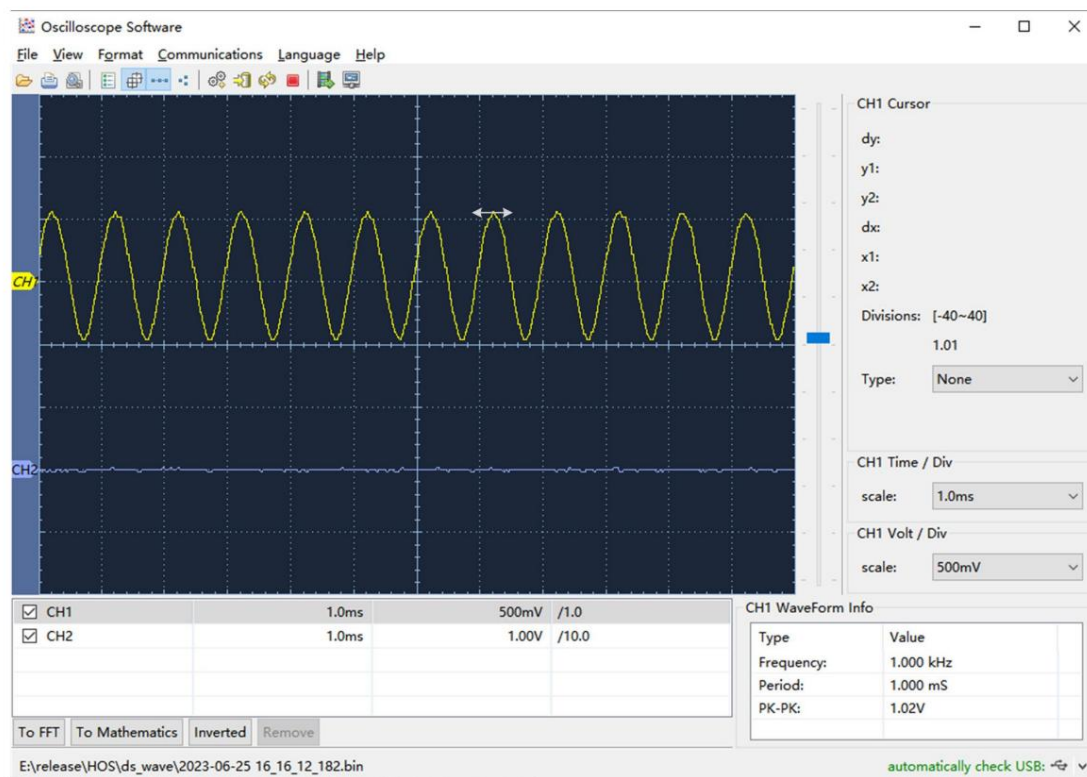


図5-1-1

(3)波形の色を変更する：「CH1」をダブルクリックして

色を変更するためのカラーダイアログボックス。

(4)電流波形の時間軸分割を表示し、

図5-1-2のような領域で調整され、これは時間範囲である。

縦線上の約1目盛り（以下8目盛り）

カムボックスでスケールを調整し、波形をズームします

中心目盛りを中心とする対応する区分

シャフト（図5-1-3）。

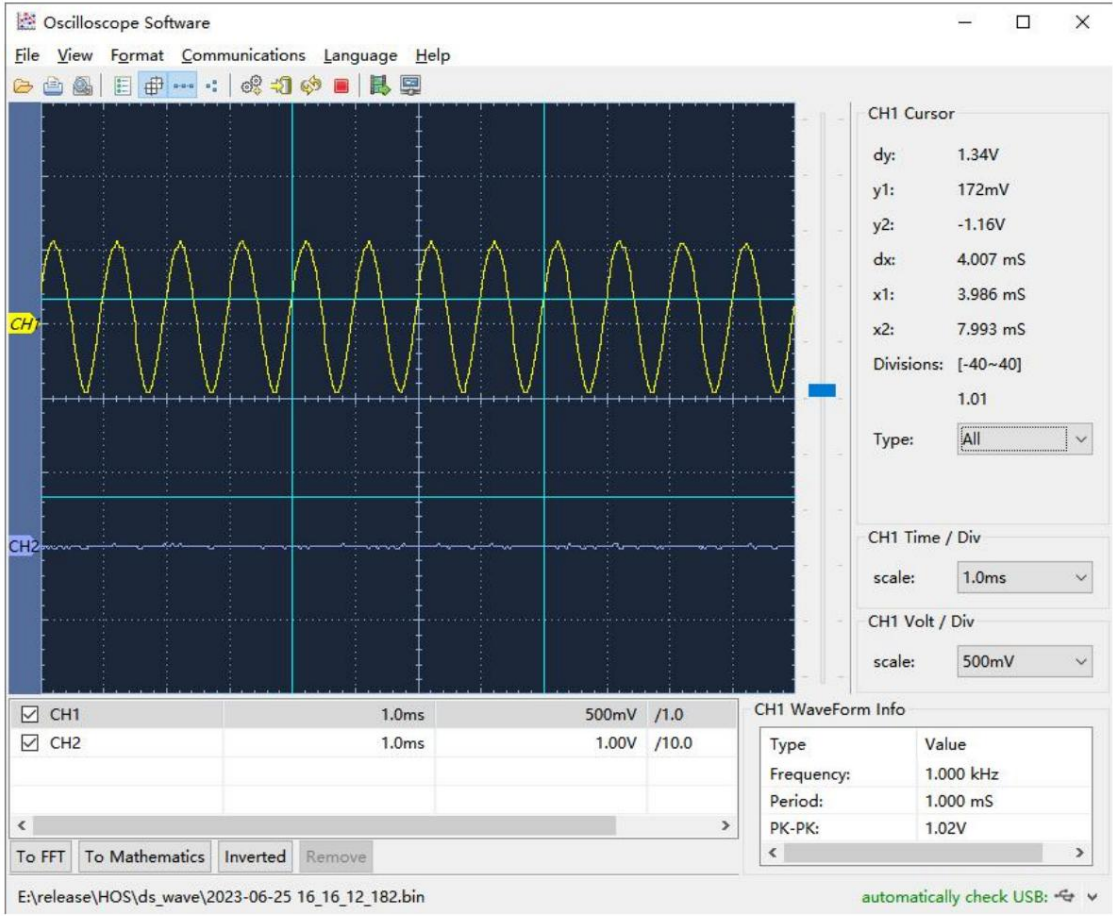


图5-1-2

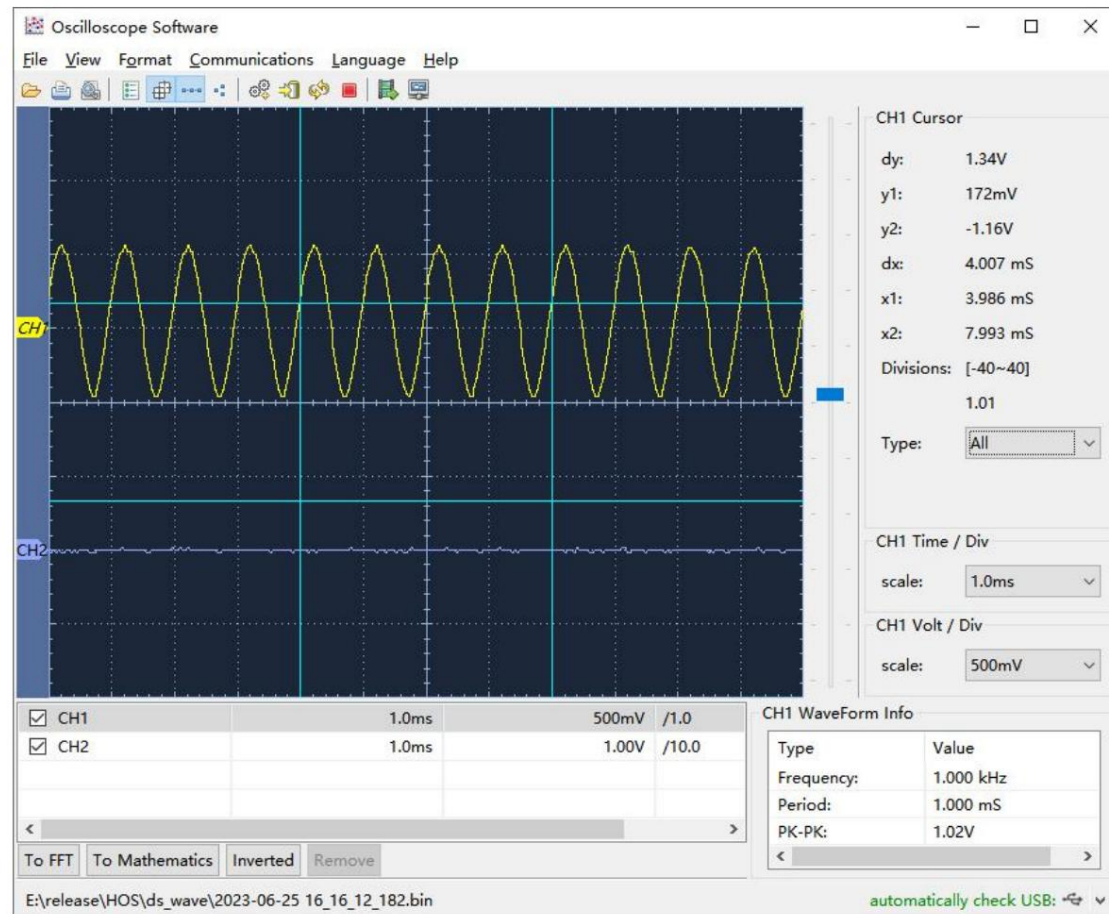


図5-1-3

(5) この側面では、電圧分割は、表示および調整に使用できます。

水平線上の1スケールである電流波形

(以下の12のスケール、異なる形式の異なるシリーズ)

(あくまでも参考値です。)そして、

ボックスでは、波形は対応する区分にズームされ、

センターシャフトとしてゼロ電圧位置。

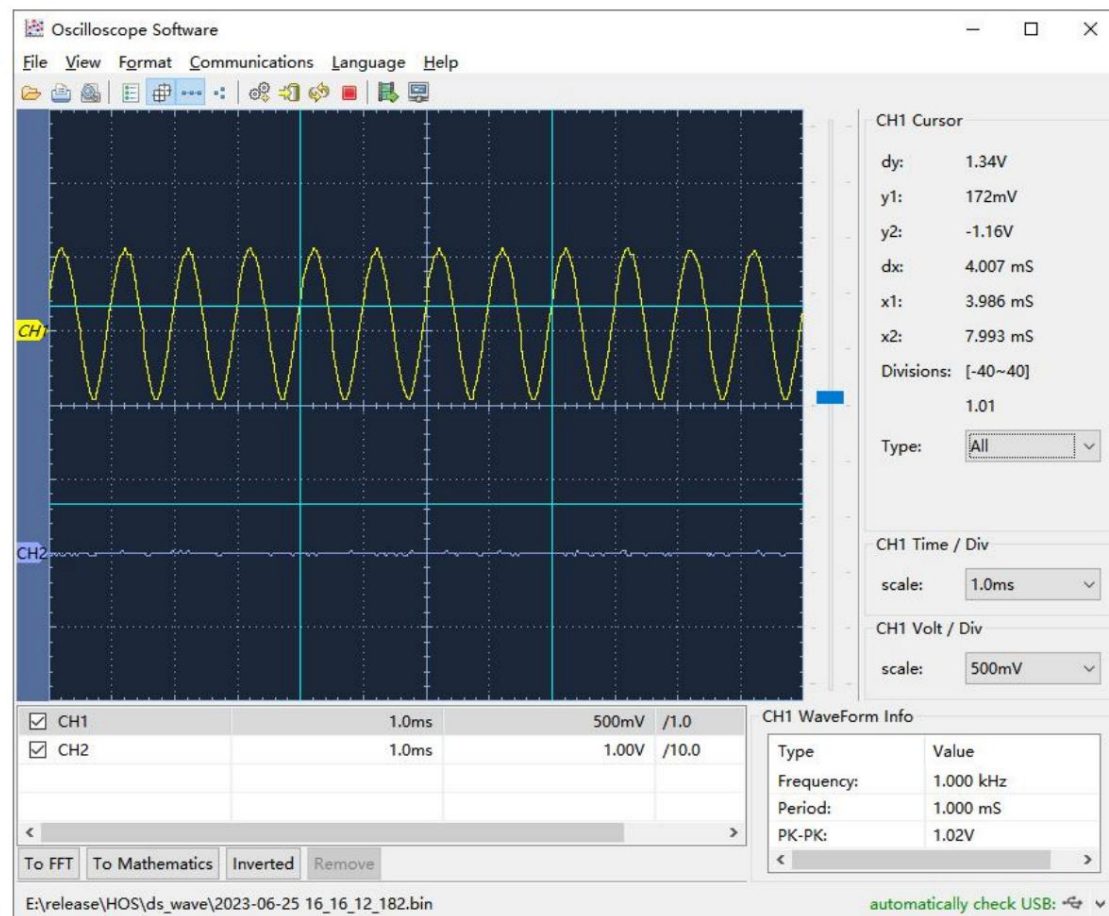


図5-1-4

カーソルエリア内の操作（図5-2）

測定と位置特定に選択できるカーソルの種類は4つあります。

例えば、なし、水平線、垂直線、二重線（つまり

水平線と垂直線を同時に表示（図5-2）

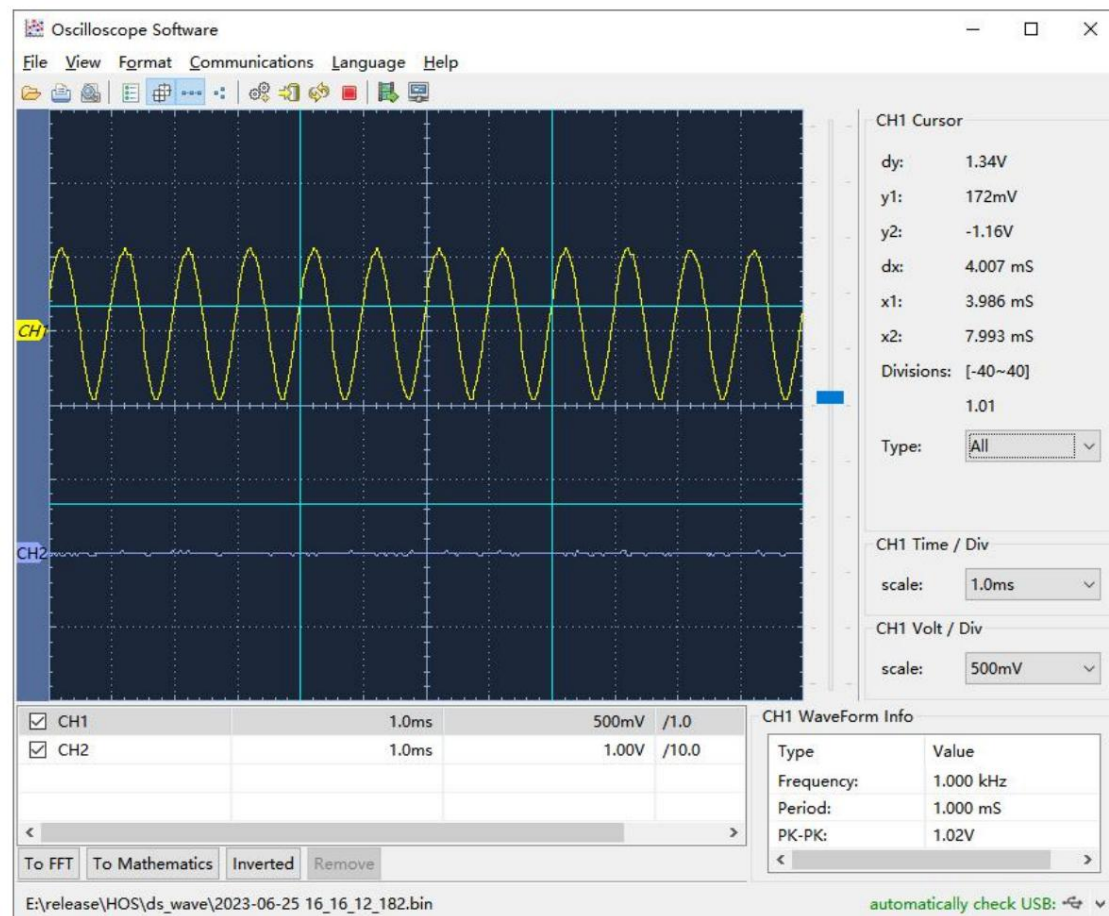


図5-2

(1)なし :小節カーソルなし

(2)水平線 :波形の2本の水平線をドラッグします

上下にエリアを移動して、すべての電圧値を測定します

電流波形の垂直方向、上図のY1、Y2が示すように

対応する2本の垂直線の実際の電圧値は

電流波形のゼロ点と $dy=y1-y2$ は

2つのカーソル ラインの電圧差の値。

(3)垂直線 :波形エリアの2本の垂直線を左にドラッグします

そして、水平方向のすべての時間値を測定する権利

電流波形は、上図のx1、x2が時間を示している。

2本の垂直線の値（左端は時間のゼロ値）

$dx=x1-x2$ は2つのカーソルの時間差の値である。

行。

（4）二重線（図5-1-3）：垂直線と水平線

すべて波形領域内にあり、同時に測定されます。

チャンネルボックスでの操作（図5-3）

ユーザーはチャンネルボックス内のチャンネルをクリックするか、

このようなエリアの波形を選択して現在の波形を設定します（CH1または

波形のサンプリングポイント）の場合、選択されたチャンネルは

ハイライトマークが付けられ、対応するデータが表示されます

時間軸区分、電圧区分、パラメータ領域

同時に。

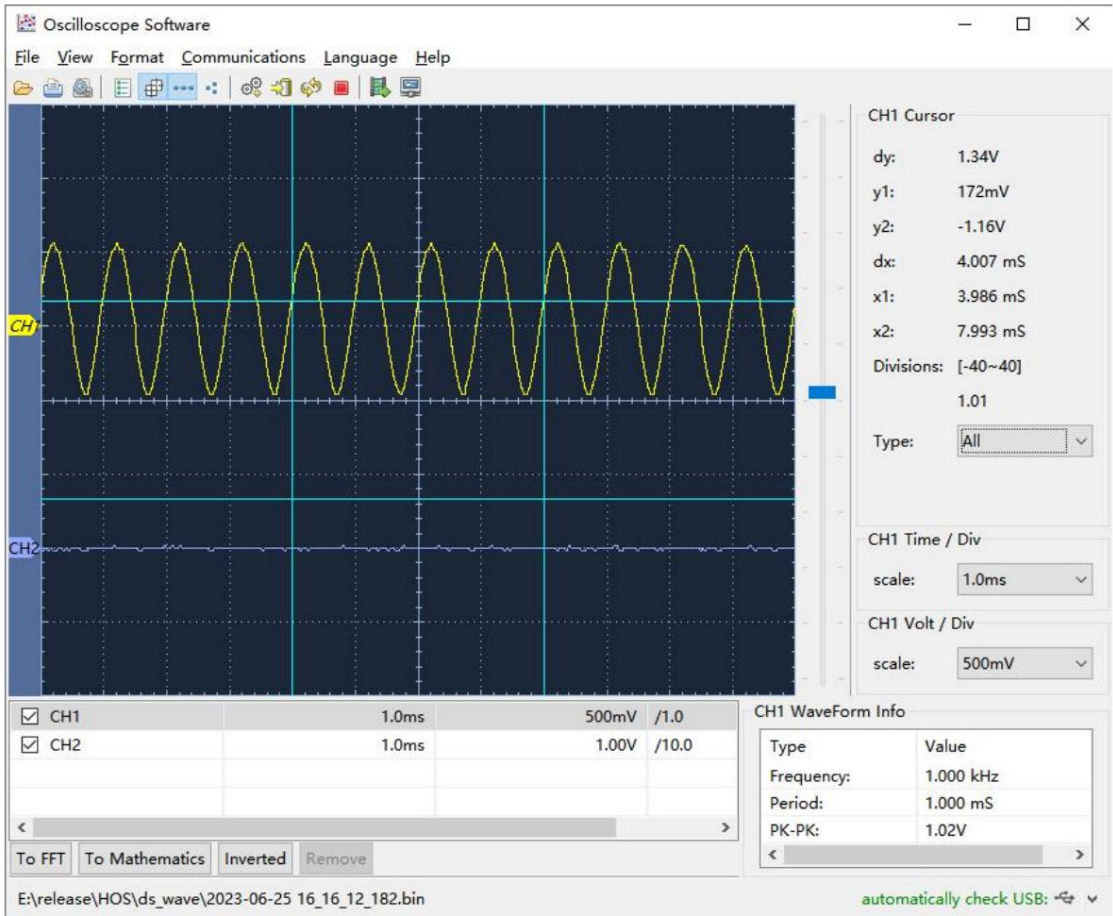


图5-3